

令和6年度当初予算  
令和5年度2月補正予算

## 主要事業の概要

人づくり・県民生活部

人づくり・県民生活部 令和6年度当初予算、令和5年度12月・2月補正予算(16か月予算)総括表

一般会計

(単位:千円、%)

款	項	令和5年度 16か月予算				計 D (A+B+C)	令和6年度 16か月予算			計 H (E+F+G)	比較			
		令和4年度 12月補正予算 (経済対策)	令和4年度 2月補正予算 (経済対策)	令和5年度 当初予算	令和5年度 12月補正予算 (経済対策)		令和5年度 2月補正予算 (経済対策)	令和6年度 当初予算	当初予算		16か月予算			
		A	B	C	E		F	G	増減額		伸率	増減額	伸率	
		G-C	G/C	H-D	H/D									
5款 生活労働費	1項 県民生活費	4,498	1,800,000	6,350,338	8,154,836	0	0	7,060,236	7,060,236	709,898	111.2	△ 1,094,600	86.6	
10款 教育費	8項 大学費	0	0	5,652,125	5,652,125	0	0	5,195,983	5,195,983	△ 456,142	91.9	△ 456,142	91.9	
	9項 私立学校費	999,405	372,712	58,478,491	59,850,608	179,111	226,918	57,492,661	57,898,690	△ 985,830	98.3	△ 1,951,918	96.7	
	10項 青少年費	219,066	0	4,802,851	5,021,917	0	0	295,748	295,748	△ 4,507,103	6.2	△ 4,726,169	5.9	
	小計	1,218,471	372,712	68,933,467	70,524,650	179,111	226,918	62,984,392	63,390,421	△ 5,949,075	91.4	△ 7,134,229	89.9	
合計	1,222,969	2,172,712	75,283,805	78,679,486	179,111	226,918	70,044,628	70,450,657	△ 5,239,177	93.0	△ 8,228,829	89.5		

※ 12月、2月補正予算は、経済対策に係るものを計上

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
社会活動 推進課	5	1	1	新規	多様な主体の協働による 被災者支援体制機能強化費	3,745	<p><b>1 目的</b> 多様な主体の協働による災害ボランティア活動の広域支援体制を強化することで、災害時のボランティア活動を円滑化するとともに、共助社会づくりを推進する。</p> <p><b>2 内容</b></p> <p>(1) 災害ボランティア活動を行う支援団体の拡大 多様な主体の連携による被災者支援の重要性を周知するセミナーを開催し、民間支援団体に対し、災害ボランティア活動への参加と市町村等との協力を依頼 [参加者] NPO、企業、市町村、市町村社会福祉協議会 等</p> <p>(2) 広域災害時における災害ボランティア活動の円滑化 県が主体となり、三者（県・県社協・Fネット）の連携による災害ボランティア活動の広域調整訓練（模擬情報共有会議）を実施 [訓練内容] ・県が情報共有会議を立ち上げ、会議を運営 ・市町村域では対応できない被災者ニーズを県社協が把握・整理し三者で共有 ・Fネットが被災者ニーズに対応できる団体を広域で調整 ※Fネット（災害支援ふくおか広域ネットワーク）とは、多様な主体の被災者支援をコーディネートする県域の災害ボランティア団体ネットワーク</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【関連事業（福祉労働部）】</b></p> <p>○ 地域協働型災害ボランティアセンター運営体制構築の推進 市町村社協において多様な主体と協働した「地域協働型災害ボランティアセンター」の運営体制構築を推進するため、県社協が実施する研修・訓練等に対し助成</p> </div>	0

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
文化振興課	5	1	2	継続	芸術文化祭開催費	82,299	<p><b>1 目的</b> 多彩な文化芸術を鑑賞・体験できる「ふくおか県芸術文化祭」を開催し、年齢や障がいの有無等に関わらず広く県民が文化芸術に触れる機会を提供することにより、文化芸術活動の裾野の拡大や新しい県民文化の創造と発展を図る。</p> <p><b>2 内容</b></p> <p>(1) ①ふくおか県芸術文化祭オープニングフェスの開催 28,175 芸術文化祭を開幕する10月初旬に、学生の企画を取り入れたオープニングフェスを天神中央公園、リバーウォーク北九州の2会場で開催 ・ステージイベント（大学生による音楽・ダンス、障がい者による演奏等） ・ブース展示（伝統工芸の親子参加体験イベント、障がい者アート展示等）</p> <p>(2) ①芸術文化祭のインターネット発信 3,642 芸術文化祭ホームページで、参加団体の公演内容やメディアアートの投稿作品を発信</p> <p>(3) ②芸術文化祭パンフレットによるPR 6,054 コンパクトなイベントガイドにリニューアルし、魅力をPRして参加を喚起</p> <p>(4) ①伝統芸能の魅力発信 5,335 大濠公園能楽堂で、伝統芸能が一堂に会する公演や、能・狂言の解説付き公演を開催</p> <p>(5) ①子どもたちに文化芸術の鑑賞・体験機会を提供 5,912 ・演劇、音楽、伝統芸能等の芸術家を小・中・特別支援学校や小児医療施設等に派遣 ・文化芸術団体が実施する、子どもたちに鑑賞・体験の機会を提供する取組に対して助成</p> <p>(6) ①地域文化創造の新たな取組を促進 5,669 文化芸術団体が実施する地域文化の創造・発展につながる新しい取組に対して助成</p> <p>(7) 地域別・分野別フェスティバル、シニア美術展 等 27,512</p>	33,545

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額		
	款	項	目							
文化振興課	5	1	2	新規	文化芸術 イノベーション アカデミー事業費	4,012	<p><b>1 目的</b> 誰もが身近な地域で文化芸術に親しむことができるよう、地域住民の文化芸術活動の拠点である市町村が企画する文化芸術事業の創出を促進する。</p> <p><b>2 内容</b> 「文化芸術イノベーションアカデミー」の開催 [対象者] 市町村職員、公立文化施設職員 [内容] ・文化芸術の必要性や県条例・計画を学ぶ基本講座 ・事業の企画立案ノウハウや運営手法等を学ぶ実地研修等</p>	0		
				継続	まごころアート FUKUOKA Gallery事業費	13,505	<p><b>1 目的</b> 障がいのある人のアート活動を促進し、収入向上・社会参加を支援するとともに、その多彩な能力・才能に触れる機会を県民に提供する。</p> <p><b>2 内容</b> (1) レプリカや作品画像データのレンタル・販売 障がい者アーティストが制作した作品のレプリカや作品画像データを企業等に有料でレンタル・販売し、料金の一部をアーティストへ還元 [実施方法] 障がい者アート作品の商品化に取り組むNPO法人へ業務委託 [委託内容] ・レプリカのレンタル ・<b>新</b>レプリカや作品画像データの販売 ・<b>新</b>レンタル作品の展示会  (2) 県庁舎等での障がい者アート作品の展示 ・<b>新</b>県庁舎内に、展示ブース等を整備</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>展示場所</th> <th>展示物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロビー</td> <td>障がい者アート作品、まごころ製品</td> </tr> <tr> <td>各階エレベーターホール</td> <td>障がい者アート作品</td> </tr> </tbody> </table>	展示場所	展示物	ロビー
展示場所	展示物									
ロビー	障がい者アート作品、まごころ製品									
各階エレベーターホール	障がい者アート作品									

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
男女共同 参画推進課	5	1	2	継続	困難な問題を抱える 女性への支援費	51,877	<p><b>1 目的</b> 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、市町村や民間支援団体等と連携して支援を行う。</p> <p><b>2 内容</b> (1) ①「福岡県女性サポートホットライン（仮称）」の設置 [開設時間] 9時～17時（年末年始を除く） (2) 民間支援団体との協働によるアウトリーチ型支援の実施 ・街頭や子ども食堂等での声掛け ・相談（SNS、電話、メール、面接）、公認心理師等による出張専門相談、 ②産婦人科医による健康相談 ・居場所の提供（フリースペースの設置：福岡市、③北九州市）等</p>	19,345
				新規	ジェンダー平等フォーラム 開催費	5,411	<p><b>1 目的</b> 男女共同参画社会の実現に向け、県民がジェンダー平等について考え、理解を深める「福岡県ジェンダー平等フォーラム（仮称）」を開催する。</p> <p><b>2 内容</b> (1) 基調講演の開催 ジェンダー平等をテーマとした講演会をクローバープラザで開催 [開催日] 令和6年11月23日（土） (2) 県民企画の講演会等の開催 10月～11月を「福岡県ジェンダー平等マンス」として、ジェンダー平等のテーマに沿った、県民企画の講演会やパネルディスカッション等を県内各地域で実施</p>	0
				新規	若者のジェンダー平等 理解促進費	1,413	<p><b>1 目的</b> 高校生がジェンダー平等について意見交換し、その成果を発信することにより、若者のジェンダー平等への理解を促進する。</p> <p><b>2 内容</b> ワークショップの開催 ・高校生がジェンダー平等について意見を交換し、テーマを決定 ・テーマに沿って、オンライン調査や有識者へのインタビューを実施 ・「福岡県ジェンダー平等フォーラム（仮称）」等で成果を発信 [参加者] 高校生18名 ※県内から広く募集</p>	0

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
（単位：千円）

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
男女共同 参画推進課	5	1	2	新規	女性活躍に向けた 社会のマインドチェンジ 促進費	8,040	<p><b>1 目的</b> 企業における女性活躍を推進するため、若者（主に大学生）の意見を発信することで、企業経営層の意識改革を促す。</p> <p><b>2 内容</b> 企業の優良な取組を紹介する動画や、女性活躍に向けた若者の意見をまとめた動画を制作し、企業・経済団体に発信</p>	0
				新規	女子中高生のための キャリアデザイン 応援事業費	6,000	<p><b>1 目的</b> 若者（主に女子中高生）が、柔軟な発想と幅広い視野で将来のキャリアを考えられるよう、様々な分野で活躍する女性ロールモデルを提示する。</p> <p><b>2 内容</b> (1) 県内の女性ロールモデルが、働く魅力などを語るトークライブを開催（4地域で各1回） (2) 日本をけん引する女性リーダーが、人生の転機となった挑戦や自分らしいキャリアの実現について語るフォーラムを開催（1回）</p>	0
				新規	女性の起業促進費	2,368	<p><b>1 目的</b> 女性の起業を促進するため、起業したい女性や創業から間もない女性からの相談に対応するとともに、女性の先輩起業家と交流できる場を創出する。</p> <p><b>2 内容</b> (1) 「福岡県女性の起業サポートデスク（仮称）」の設置 ・女性相談員がライフイベントとの両立などの相談にオンラインで対応（事前予約制、1件60分） (2) 「福岡県女性起業家育成ネットワーク（仮称）」の設置 ・女性の先輩起業家を交えた勉強会を実施（年6回） ・女性の先輩起業家と個別に対話できる機会を提供</p>	0

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額																								
	款	項	目																													
生活安全課	5	1	2	継続	自転車ヘルメット 着用促進費	4,441	<p><b>1 目的</b></p> <p>被害者にも加害者にもなりうる自転車事故を防止するため、特に若年者に対する自転車の安全利用の意識向上を図る。</p> <p>[県内の現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車関連事故の発生状況は、若年者（10歳～19歳）の事故が約30%、そのうち高校生の事故が半数</li> <li>・自転車ヘルメットの着用率は約10%、特に高校生は約3.5%と低調</li> <li>・自転車保険への加入率は70%弱</li> </ul> <p><b>2 内容</b></p> <p>④自転車安全利用の啓発の強化</p> <p>事故の割合が高い中・高・大学生等に対し、ヘルメット着用をはじめとする自転車安全利用の啓発を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画形式の啓発冊子（コミックブック「アトノマツリ」）の配付先を、これまでの中・高・大学生等の新生生に加えて、最も事故割合が高くヘルメット着用率が低調な高校生は全生徒に拡大</li> <li>・啓発冊子のコマ撮りアニメーションを、県ホームページやSNSで配信</li> </ul>	3,442																								
<p><b>【年代別自転車ヘルメット着用率（R5.4月から努力義務化）】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学生以下</th> <th>中学生</th> <th>高校生</th> <th>成人</th> <th>県内全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査数</td> <td>260人</td> <td>539人</td> <td>2,708人</td> <td>8,003人</td> <td>11,510人</td> </tr> <tr> <td>着用者</td> <td>107人</td> <td>334人</td> <td>96人</td> <td>613人</td> <td>1,150人</td> </tr> <tr> <td>着用率</td> <td>41.2%</td> <td>62.0%</td> <td>3.5%</td> <td>7.7%</td> <td>10.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5.7月 県警察調査</p>										小学生以下	中学生	高校生	成人	県内全体	調査数	260人	539人	2,708人	8,003人	11,510人	着用者	107人	334人	96人	613人	1,150人	着用率	41.2%	62.0%	3.5%	7.7%	10.0%
	小学生以下	中学生	高校生	成人	県内全体																											
調査数	260人	539人	2,708人	8,003人	11,510人																											
着用者	107人	334人	96人	613人	1,150人																											
着用率	41.2%	62.0%	3.5%	7.7%	10.0%																											
<p><b>【自転車保険加入率（R2.10月から義務化）】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県政モニターアンケート</td> <td>65.0%</td> <td>65.4%</td> <td>68.4%</td> <td>集計中</td> </tr> </tbody> </table>										R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	県政モニターアンケート	65.0%	65.4%	68.4%	集計中														
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																												
県政モニターアンケート	65.0%	65.4%	68.4%	集計中																												



令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
スポーツ 企画課	5	1	2	新規	ツール・ド・九州 開催費	224,225	<p><b>1 目的</b> 県内におけるサイクリススポーツのファンや競技人口の増加、地域経済の活性化を図るため、国際自転車競技連合認定の「ツール・ド・九州」を開催する。</p> <p><b>2 内容</b> (1) ツール・ド・九州の開催 [開催日] 令和6年10月11日(金)～14日(月・祝) ※県内開催日未定 [開催地] 福岡県(宗像市、岡垣町)、熊本県、大分県 [参加チーム] ワールドチームを含む国内外の18チーム(108名)</p> <p>(2) ツール・ド・九州福岡ステージの機運醸成 ・県内各所において、バーチャルサイクリング体験やパネル・映像を活用した機運醸成イベントを実施 ・ゴール会場において、大型観戦モニター、県のプロモーションブース、飲食ブース等を設置するとともに、サイクルイベント等を開催 ・地域の名所・旧跡を巡るとともに食や文化を体感できるファンライドを開催</p>	0
				新規	世界少年野球 福岡大会開催費	40,270	<p><b>1 目的</b> 世界各国・地域から招待した子どもたちと県内各地の子どもたちが大会を通じて触れ合うことで、コロナ禍で中断された市町村の国際交流を再開するきっかけとするとともに、国際感覚を持った人材を育成する。</p> <p><b>2 内容</b> 第30回世界少年野球大会福岡大会の開催 [開催日] 令和6年7月28日(日)～8月5日(月) 9日間 [開催地] 北九州市、大川市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、みやま市、那珂川市、福智町 [開催内容] 野球教室、交流試合、地元交流(ホームステイ、文化交流等)</p>	0

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
スポーツ 企画課	5	1	2	新規	Fukuoka Sports Award 2024開催費	7,440	<p><b>1 目的</b> パリオリンピック・パラリンピックに出場する福岡県ゆかりの選手の栄誉を称えることで、県民のスポーツへの関心を高め、アスリート支援の気運を醸成する。</p> <p><b>2 内容</b> (1) 福岡県ゆかりのオリ・パラ出場選手による県民報告会の開催 [会場] 福岡市内のホテル [開催時期] 令和6年11月～令和7年3月（選手の都合に合わせて調整）  (2) 応援ロビー展の実施 [会場] 県庁1階ロビー [期間] オリンピック開会1か月前～パラリンピック閉会1週間後</p>	0
				新規	バレーボール国際大会開催による地域・スポーツ活性化事業費	48,430	<p><b>1 目的</b> 九州初開催となる「バレーボールネーションズリーグ2024 福岡大会」を契機として、県民のスポーツへの関心を高めるとともに、観戦客や海外選手、大会を報道するメディア等へ本県の魅力、本県が先進的に取り組むワンヘルスの理念を発信し、国内外からの誘客を促進する。</p> <p><b>2 内容</b> (1) 本県の魅力発信 大会会場周辺で、本県の食・観光やスポーツの魅力、ワンヘルスの理念をPRするブースを運営  (2) 大会を契機としたワンヘルスの理念の発信 スポーツとワンヘルスをテーマとした啓発動画・冊子を作成し国内外へ発信  (3) 大会観戦招待 [対象] 県内の小学6年生  (4) 県内のプロチーム等による指導教室 [対象] 県内の中学校・高等学校</p> <p>&lt;大会概要&gt; [開催場所] 西日本総合展示場（新館） [開催期間] 男子：6月4日（火）～9日（日）、女子：6月11日（火）～16日（日）</p>	0

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
スポーツ 振興課	5	1	2	継続	パラスポーツタレント 発掘・育成費	36,071	<p><b>1 目的</b> パラスポーツに対する優れた素質や潜在的な能力を持つ者を発掘・育成する仕組みを構築し、本県から世界で活躍できるパラアスリートを継続的に輩出する。</p> <p><b>2 内容</b></p> <p>(1) 体験会・相談会・測定会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツを知る機会を提供するための体験会・相談会を実施 [実施回数] 県内2地区で各1回</li> <li>・パラアスリート発掘のための測定会を実施 [実施回数] 1次選考：県内4地区で各1回、2次選考：県内1地区で1回</li> </ul> <p>(2) 育成プログラムの実施</p> <p>(育成1年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会主催の定期練習会を開催し、中央競技団体のトップコーチ招へいによる指導などを実施</li> </ul> <p>⑨ (育成2年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内競技団体主催の定期練習や中央競技団体主催の大会に参加する選手の活動費を支援</li> </ul> <p>(3) 県内競技団体指導者の指導力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央競技団体が実施するスキルアップ研修等への参加を支援</li> </ul> <p>(4) 実行委員会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツ関係団体、競技団体等で構成された実行委員会・専門部会で、発掘・育成プログラムを策定・実施</li> </ul> <p>[対象競技（7競技）] 陸上、バドミントン、ゴールボール、車いすバスケットボール、車いすテニス、ボッチャ、水泳</p>	30,625

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
政策課	10	8	1	新規	大学におけるワンヘルス 教育推進費	7,131	<p><b>1 目的</b> 県内大学がワンヘルス教育研究を推進しやすい環境を整備し、各大学によるワンヘルス教育研究を促進する。</p> <p><b>2 内容</b> ワンヘルス教育研究推進アドバイザーの活用により、県内大学におけるワンヘルス教育プログラムの導入を促進</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンヘルスの概念や歴史、人獣共通感染症などについてオンデマンドで学ぶ教育プログラムを県内大学と共同で制作し、各大学で導入する仕組みを構築</li> <li>・ワンヘルス教育プログラムの導入、県内大学間でのワンヘルスに関する共同研究の活性化に向けて、県内大学への助言、研究者同士のマッチングを支援するワンヘルス教育研究推進アドバイザーを設置</li> </ul>	0

令和6年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
私学振興課	10	9	2	継続	私立学校振興対策費	57,484,772	<p><b>1 目的</b> 私立学校における教育条件の維持向上、保護者の負担軽減及び学校経営の健全性を高めるために助成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園、小中学校、高等学校運営費補助金により、経常的経費に対する補助を行い、私立学校教育の振興を図る。</li> <li>・私立高等学校就学支援金及び奨学給付金により、私立高等学校の授業料等に対する支援を行い、保護者の負担軽減を図る。</li> <li>・私立専門学校授業料等減免補助金により、専門学校の授業料等減免に対する支援を行い、保護者の負担軽減を図る。</li> <li>・私立学校施設の耐震化工事や、設備に対する補助を行う。</li> </ul> <p><b>2 内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私立幼稚園運営費補助等 13,072,532</li> <li>○ 私立小中学校運営費補助等 3,476,424</li> <li>○ 私立小中学校等授業料軽減補助金 26,880</li> <li>○ 私立高等学校運営費補助等 22,334,171</li> <li>○ 私立高等学校等就学支援金交付金 12,895,854</li> <li>○ 私立高等学校等奨学給付金事業費 1,170,876</li> <li>○ 私立専門学校授業料等減免補助金 3,938,292 (うち ④ 多子世帯や理工農系の生徒の中間層への支援 558,721)</li> <li>○ 私立専修各種学校補助金等 186,211</li> <li>○ 私立学校耐震化促進費 351,532</li> <li>○ 不登校・中途退学対策事業費 32,000</li> </ul>	58,470,955

令和5年度2月補正予算（経済対策）（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部  
（単位：千円）

課名	科目			新規 継続	事項名	補正 予算額	事業の概要	現行 予算額
	款	項	目					
私学振興課	10	9	2	継続	私立学校給食支援費	222,903	<p><b>1 目的</b> 物価高騰による給食費の増加分を支援することで、保護者負担の軽減を図る。</p> <p><b>2 内容</b></p> <p>(1) 給付対象 給食を実施している 私立の幼稚園(271園(見込))、小学校(8校)、 中学校(6校)、中等教育学校(1校)</p> <p>(2) 給付金額 物価高騰による給食費の増加単価に、年間の給食提供食数を乗じた額 [1食あたり増加単価] ・ 幼稚園 40円/食 ・ 小中学校 60円/食 (ミルク給食の場合10円/食)</p> <p>(3) 対象期間 令和6年4月～令和7年3月</p>	372,712 (R4.2月補正)
				新規	私立幼稚園における 性被害防止対策費	4,015	<p><b>1 目的</b> 私立幼稚園における性被害防止対策のための設備整備を支援する。</p> <p><b>2 内容</b></p> <p>(1) 実施主体 私立の幼稚園</p> <p>(2) 補助対象経費 カメラ、パーテーション等の設備整備費</p> <p>(3) 補助上限額 5万円</p> <p>(4) 補助率 国 1/2、(幼稚園 1/2)</p>	0